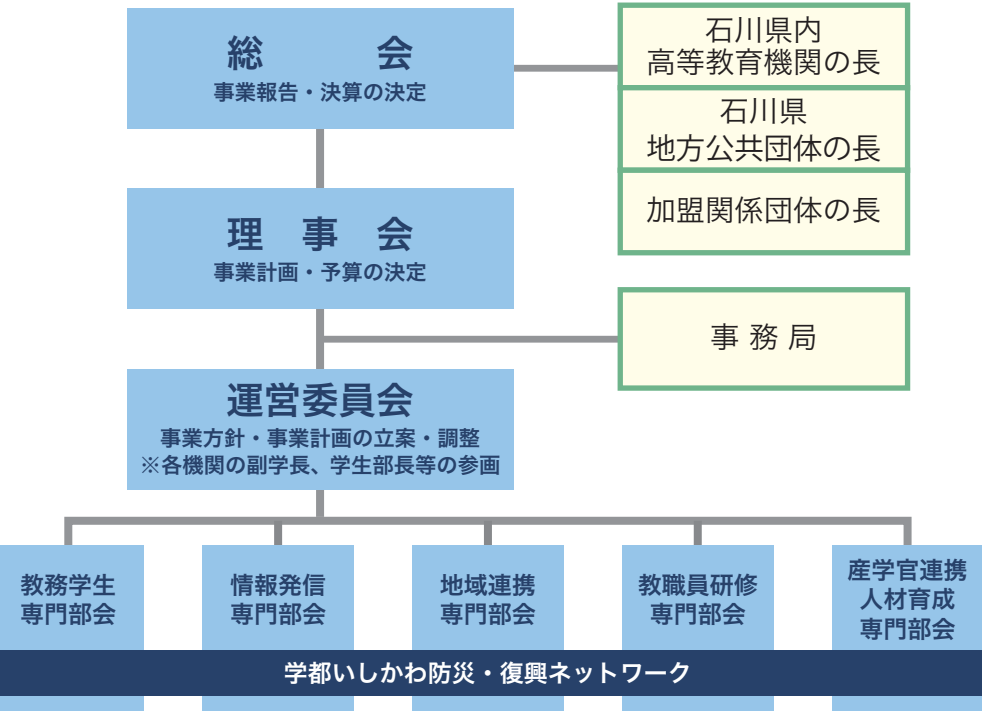


組 織 図



加盟組織

高等教育機関

- | | | |
|------------------|------|-------|
| 大学 | 石川県 | 能美市 |
| 国公立 | 金沢市 | 野々市市 |
| 金沢大学 | 七尾市 | 川北町 |
| 北陸先端科学技術大学院大学 | 小松市 | 津幡町 |
| 石川県立看護大学 | 輪島市 | 内灘町 |
| 石川県立大学 | 珠洲市 | 志賀町 |
| 金沢美術工芸大学 | 加賀市 | 宝達志水町 |
| 公立小松大学 | 羽咋市 | 中能登町 |
| 私立 | かほく市 | 穴水町 |
| 金沢工業大学 | 白山市 | 能登町 |
| 金沢星稜大学 | | |
| 金沢医科大学 | | |
| 北陸大学 | | |
| 金沢学院大学 | | |
| 金城大学 | | |
| 北陸学院大学 | | |
| かなざわ食マネジメント専門職大学 | | |
| 放送大学石川学習センター | | |

関係団体

- | |
|-------------------|
| 石川県商工会議所連合会 |
| 石川県商工会連合会 |
| (一社) 石川県経営者協会 |
| 石川県中小企業団体中央会 |
| (一社) 金沢経済同友会 |
| (一社) 石川県鉄工機電協会 |
| (一社) 石川県繊維協会 |
| (一社) 石川県食品協会 |
| 石川県酒造組合連合会 |
| (一社) 石川県情報システム工業会 |
| (公社) 金沢青年会議所 |

高等専門学校

- | |
|------------|
| 国立 |
| 石川工業高等専門学校 |
| 私立 |
| 国際高等専門学校 |

国際機関

- | |
|---|
| 国際連合大学サステナビリティ
高等研究所いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット |
|---|





公益社団法人 **大学コンソーシアム石川**

〒920-0962 石川県金沢市広坂二丁目1番1号
石川県政記念 しいのき迎賓館3階
TEL : 076-223-1633 FAX : 076-223-1644
E-mail : info@ucon-i.jp URL : https://www.ucon-i.jp/



公益社団法人

大学コンソーシアム 石川

2025



UNIVERSITY CONSORTIUM ISHIKAWA

大学等連携による
石川の『知』の拠点の創出



次代を担う人材育成を目指して

石川県には、歴史や文化、自然といった魅力があります。また、高等教育機関の集積度が高く（人口当たりの学校数は全国第1位、学生数は第3位（令和6年度実績））、大きな特徴・利点となっています。未来社会を担う若者を育む教育の果たすべき責任は重要であり、高等教育機関への期待は誠に大きいものがあります。

この期待に応えるため、大学コンソーシアム石川は、石川県内すべての高等教育機関が国・公・私立の枠組みや大学・短大・高専という学校種別を超えて協働し、魅力あふれる学びと切磋琢磨する環境を提供しています。

例えば、オンライン講義を活用し、各高等教育機関の魅力ある講義を全国に発信しています。また、石川の未来を見据えた「未来の石川を学生がつくる」をテーマとするプロジェクト型事業を実施し、昨年度は馳石川県知事に提言を行いました。

さらに、学生を海外に派遣する「Take-Off Program」、卒業生の地元定着に寄与する「学都いしかわエクスターンシッププログラム」等により石川県の発展を教育面から支えています。

加えて、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨からの復興のために、能登空港内に活動拠点「能登分室」を整備し、「学都いしかわ防災復興ネットワーク」の枠組みで防災・減災、復興のための教育・啓発活動を実施しています。

大学コンソーシアム石川は、幅広い知識と視野を持つ優れた人材を育成するとともに、高等教育機関と地方公共団体・産業界等との連携を深め、地域の活性化に資することを目指しています。

設立の趣旨

大学コンソーシアム石川は、石川県内の高等教育機関相互の連携及び高等教育機関と地域社会との連携を深める役割を担っています。これらの連携による教育交流、情報発信、地域連携等を通して高等教育の充実・発展を図るとともにその成果を地域社会に還元し、広く学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に設立しました。



沿革

1999年
7月
いしかわ大学連携促進協議会（会長：谷本県知事）設立、石川県高等教育振興室に事務局を設置

2003年
7月
県内高等教育機関で単位互換包括協定が締結される。
10月
学生の単位互換や社会人も講義を聴講できる「いしかわシティカレッジ」等を開始する。

2006年
4月
大学コンソーシアム石川が設立、県広坂庁舎内に事務局が設けられ、業務を開始する。

2008年
8月
文部科学省の平成20年度「戦略的・大学連携支援事業」に採択される。（代表校：金沢大学）

2010年
4月
事務局・セミナールームが「いいのき迎賓館」に移転する。
7月
一般社団法人大学コンソーシアム石川に移行

2012年
10月
平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、取組みを開始する。（代表校：金沢大学）

2013年
2月
「地域づくり総務大臣表彰」受賞。大学コンソーシアム石川の大学・地域連携に対する取組みが高く評価される。

2015年
7月
平成27年度官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～地域人材コースに採択される。

2016年
4月
公益社団法人大学コンソーシアム石川に移行
8月
10周年記念事業開催

2021年
10月
「金沢文化・学術研究開発都市未来構想」記者発表

2024年
6月
「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」が設置され、「能登半島地震復興支援セミナー」開始
8月
「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」キックオフシンポジウム開催 能登分室の設置



公益社団法人
大学コンソーシアム石川
会長 和田 隆志
(金沢大学長)

主な事業

大学コンソーシアム石川でしか学べない講義・セミナーが多数開講！

「能登半島地震復興事業」

能登半島地震からの復興に資するため、「能登半島地震復興支援セミナー」を継続するとともに、石川県、関係地方公共団体と連携して、関係事業を実施

「石川県の行政」「石川県の市町」

石川県の幹部職員等が講義する「石川県の行政」に加え、県内の市町の首長や幹部職員を講師に迎え、地方公共団体が抱える課題とその解決策や、学生と地域との連携の在りかたを考える「石川県の市町」を開講

教育交流事業

いしかわシティカレッジ単位互換事業

他高等教育機関の科目を履修し修得した単位を、自分の所属機関等の単位とみなす制度
生涯学習の1つの方策として社会人にも提供
オンライン講義を活用し、一部の講義を全国展開中！
〔令和6年度受講者数 3,763名〕

	前 期	後 期	合 計
科 目	48科目	50科目	98科目
学 生	2,115名	1,416名	3,531名
社会人	28名	204名	232名



シティカレッジ 講義の様子

兼六園周辺文化施設の「学生のまちパスポート」発行事業

重層的な石川の文化の周知と学生の回遊による中心市街地の活性化を目的に、新入生が兼六園周辺の石川県・金沢市の文化施設に1年間無料で何度でも入館できる「学パス」を発行
令和7年度版は会員機関の学生がデザイン
〔令和6年度利用者数 3,933名〕



令和7年度 学パス

障がい学生等支援共同サポートセンター事業

加盟高等教育機関の障がい学生支援をサポートする啓発セミナーや障がい学生と卒業生の交流会等を実施

学都いしかわグローバルチャレンジプログラム

地域課題解決と国際課題について各高等教育機関独自の体験型プログラムから重点的に学修した学生に対して、グローバル人材としての資質修得を認定
グローバル人材として必要な6つの能力を獲得
（チャレンジ意欲、思考力、課題解決力、対人基礎力、對自己基礎力、国際力）

学都いしかわエクスターンシッププログラム（教育的要素の高いインターンシップ）
石川県内の企業や地方公共団体と高等教育機関が協働し、地元求められる優れた人材の育成と地元定着に寄与

グローバル人材育成支援事業

学生と地方公共団体・地域団体、産業界の連携を深め、石川県の明日を担う人材を育成

石川のグローバル化を総合的に支援する事業

- 「学都いしかわグローバル人材育成制度」
日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぎ、石川のグローバル化を総合的に支援
①Take-Off Program（日本人学生の留学支援）
②Landing Program（外国人留学生の地元定着等）
③Global exchange Program（日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぐ）

地域連携事業

地域課題研究ゼミナール支援事業

地域の課題解決のために高等教育機関のゼミナール等と地域団体等が連携して取り組む活動を支援
〔令和7年度採択件数〕
復興課題枠（令和6年度から継続） 19件
通常枠 6件

大学・地域連携アクティブフォーラム

地域課題研究ゼミナール支援事業に採択された高等教育機関のゼミナール等の学生による成果報告会を、地域・大学関係者が参加するフォーラム形式で開催

石川未来プロジェクト

いしかわの未来を見据え「未来の石川を学生がつくる」をテーマとするプロジェクト型事業
学生自身が、輝く未来を実現するための方策を考え、実践し、活動の成果を各分野のオーソリティに向け「石川未来会議」で提言

令和6年能登半島地震被災者・支援者証言収集事業（新規）

石川県から委託を受け、能登半島地震の被災者等から証言を収集し、被災の経験を後世に伝え、今後の防災対策や防災教育の一助とする活動を支援

機関交流事業

教職員研修（FD・SD）事業

加盟高等教育機関の教員と職員が一体となって、教育の質保証とスキルアップを目指す
〔令和6年度実績〕 実施6回 参加者 教員77名 職員65名

情報発信事業

広報事業

石川県の進学ガイド『イシカレ』を制作し、県内外の高等学校等に配付
県内の高等教育機関や石川での学びの環境や魅力を紹介

出張オープンキャンパス事業

県内の高等教育機関が連携して、北陸3県の高等学校及び石川県内の中学校へ教員を派遣し大学の模擬講義を実施
〔令和6年度実績〕 実施校 延べ18校
模擬講義実施回数 延べ100回

「学都石川」高校教員キャンパスツアー 「学都石川」高校生・保護者向けキャンパスツアー（新規）

県外（対象地域）の高校教員や、北陸3県の高校生・保護者等を対象に、石川県の学びの環境等を紹介するキャンパスツアーを実施

「学都石川」まちなか芸術祭の開催

学生の絵画・彫刻・工芸作品等の展示に加え、高等教育機関の学びや日頃の活動の成果、加盟高等教育機関の取組を地域へ広く発信
芸術祭開催の運営に学生が参加することで、芸術祭が学生間の交流の場となることを目指す



活動の様子



大学・地域連携アクティブフォーラム（成果報告会）



石川未来会議



イシカレ 2025



出張オープンキャンパス模擬講義の様子



「学都石川」高校教員キャンパスツアー



「学都石川」 まちなか芸術祭